

ほんわ館だより



第145号

令和 6年 10月発行
中山町立図書館 ほんわ館
中山町大字長崎8038-9
TEL : 023-662-6688

開館時間

9:00~19:00

10月の休館日

7・15・21・28日

今月のおはなし会は
10月19日(土)

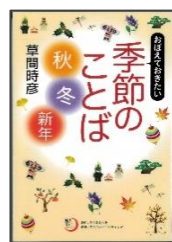
11:00~11:30です

十三夜(じゅうさんや)

10月ともなると朝晩はめっきり涼しくなり、空気も澄んできて夜空の星や月を眺めるにはとても良い季節になります。秋の月と言えば、まずは中秋の名月の十五夜を思い浮かべるのではないのでしょうか。十三夜は「後の月」とも呼ばれ、十五夜の次の新月から数えて13日目の旧暦9月13日に行われる月見のことで、今年は10月15日になります。十五夜を祀る風習は中国から伝わったものですが、この十三夜は日本で始まりました。

「十三夜のころは秋も深くなっていて、草も枯れ始める。そういうあわれさには満月よりも少し欠けている十三夜のほうがふさわしいと感じたのは、日本人特有の美意識である。」(『おぼえておきたい季節のことば』草間時彦/著 角川学芸出版【911.3/ク】)

十三夜と言えば、樋口一葉の同名の短編小説集を思い出す方もおられるかと思います。明治を生きた女性の悲哀を描いたもので、そのこともあってか十三夜には、どこことなく物哀しいイメージがあります。しかし、「豆名月」や「栗名月」とも呼ばれ、収穫した豆や栗をお供えて、秋の収穫に感謝しながら美しい月を愛でる風習でもあります。満月には少し欠けていますが、十五夜の次に美しいとされ十五夜と十三夜を合わせて「二夜の月(ふたよのつき)」と呼び、両方を見ることができると縁起が良いと言われています。晴天に恵まれると良いですね。



『ほんわ館まつり2024』を開催します

★日時: 10月26日(土) 10:00~17:00

今年も「雑誌のリサイクル市」など楽しいイベントがたくさんあります!!詳しい内容はチラシ、ポスターほんわ館ホームページをご覧ください。お楽しみに♪

Coming Soon!

第114走者

愛読書リレー

今月のランナーは渡邊 史さんです!!



『子どもたちに民主主義を教えよう
対立から合意を導く力を育む』

苦野一徳/著 工藤勇一/著 あさま社

【370.4/ト】

この本の帯に書かれた「多数決の問題点、わかりますか？」

中学生でも「少数派の意見が排除されるから」と答えます。

本書は、子どもたちに民主主義の本質を経験、実感できる教育の実践について書かれています。

著者は、山形県出身の教育者工藤勇一さんと、教育哲学者で私が音声配信でよく聞いている苦野一徳さん。彼らは、教育とは何のためにあるのか、ルールの本質とは何かなどを問い直し、対話を通じて民主主義を学ぶ重要性を説いています。子どもたちが自分たちの学校や社会をどう築くかを考え、誰一人置き去りにしない社会を目指すプロセスの価値を伝えています。

さて私は、まず家庭で(夫と)対話の力を育む努力をしようと思うこの頃です。

♪ありがとうございました!!次のランナーは青柳 増美さんです♪

今月のおすすめコーナー
郷 土
～私たちのふるさと～

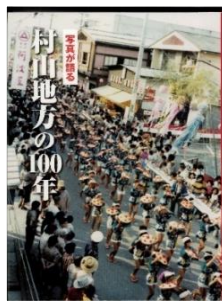
”郷土”と聞けば、昔のなつかしい思い出や、ふるさとの風景が脳裏に浮かぶ・・・自然とあたたかい気持ちになります。

今月1日は、中山町が産声をあげて70年という記念の日です。これを機に私たちの中山町のこと、山形のことをもっと知りたい！そんな皆さんにご紹介したい本を集めました。

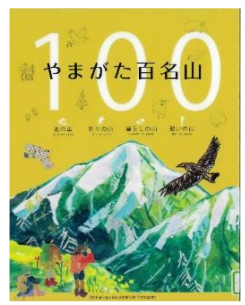
歴史・自然・文化はもちろん、県出身作家(在住も含む)の小説や町内の子どもたちが書いた文集もあります。本を手に取り、どうぞあたたかい気持ちになってくださいね。

※貸出できない本も
館内でお読みいただけます

『写真が語る
村山地方の100年』
いき出版/企画・制作
いき出版
【L/212.5/シ】
※写真で見て
感じる歴史



『なかやま探訪』
中山町観光ガイドひまわり会・
中山町郷土研究会/発行
【L/212.5/ナ】
※温故知新、新しい発見がある
かも



『やまがた百名山』
山形県みどり自然課/
監修
山形会議パブリッシング
【L/291.2/ヤ】

『山形あるある』
阿部 広重/著
TOブックス
【361.4/ア】



『教場』
長岡 弘樹/著
小学館
【913.6/ナ】
※著者は
山形出身です



※他にもたくさんご用意しています



新しく入った本



【小説・エッセイ】

- 『ナゾトキ・ジパングHANABI』
青柳 碧人/著 小学館 【913.6/ア】
- 『大きな玉ねぎの下で』(来春公開映画の原作)
中村 航/著 小学館 【913.6/ナ】
- 『少女には向かない完全犯罪』
方丈 貴恵/著 講談社 【913.6/ホ】
- 『檜垣澤家の炎上』
永嶋 恵美/著 新潮社 【913.6/ナ】
- 『武田の金、毛利の銀』
垣根 涼介/著 KADOKAWA 【913.6/カ】
- 『病葉草紙』
京極 夏彦/著 文藝春秋 【913.6/キ】
- 『全員犯人、だけど被害者、しかも探偵』
下村 敦史/著 幻冬舎 【913.6/シ】
- 『いま読む「源氏物語」』
角田 光代・山本 淳子/著
河出書房新社【913.3/カ】
- 『鷹の飛翔』
堂場 瞬一/著 講談社 【913.6/ト】
- 『常夏荘物語』
伊吹 有喜/著 ポプラ社 【913.6/イ】
- 『いつか月夜』
寺地 はるな/著 角川春樹事務所 【913.6/テ】
- 『日本扇の謎 火村シリーズ』
有栖川有栖/著 講談社 【913.6/ア】

【こどものほん】

- 『たいくつな にちようび』
MICAIO/さく・え
理論社
【E/ミ】
- 『生きものくらそう2 小鳥』
寄崎 まりを/監修 国土社 【645/イ2】
※シリーズで他に「ネコ」「うさぎ」も
あります



【生活書・教養書】

- 『今すぐできる心の守り方』
服部 信子/著 KADOKAWA 【146.8/ハ】
- 『感動する地図帖』
イアン・ライト/編著
日経ナショナルジオグラフィック【290/ラ】
- 『介護ヘルパーごたごた日記』
佐東 しお/著 三五館シンシャ 【369.1/サ】
- 『いしいいしいとしのパンどろぼうずかん』
柴田 ケイコ/原作 KADOKAWA 【726.6/イ】
- 『西郷 従道 維新革命を追求した最強の「弟」』
小川原 正道/著 中央公論新社 【289.1/オ】
- 『子どもたちに民主主義を教えよう』
苦野 一徳・工藤 勇一/著 【370.4/ト】
- 『英語でDORAEMON VOLUME4』
藤子・F・不二雄/原作 小学館 【830/エ/4】

ここに掲載されている本は一部です